



杏葉紋

北っ子

学校だより 第16号
令和6年 2月19日
みやき町立北茂安小学校
校長 長野 篤志



6年生夢の教室

2月7日(水)、8日(木)に、6年生の「夢の教室」がありました。これは、「JFAこころのプロジェクト」が主催されており、様々な競技の現役選手やOB/OGなどを「夢先生」として学校へ派遣していただき、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを「夢の教室」で伝えていただく取組です。今回は、元WBC世界フェザー級チャンピオンの越本隆志先生、タッチラグビー日本代表の倉石佳奈先生に「夢先生」として来ていただきました。

前半は、体育館で、夢先生と子どもたちが、協力して様々なゲームを行う時間でした。みんなで体を動かすことにより緊張をほぐしながら、クラス全体に「協力すること」「思いやりの心」「全力で取り組むこと」「ルールを守ること」などの大切さを伝えられました。



後半は、各教室で、夢先生が「夢曲線」を黒板に描きながら、自身が困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し「夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ」などを子どもたちに伝えられました。越本先生からは、世界チャンピオンという夢に向かう中で、挫折を感じた時、そこから這い上がる中で、周りの方への感謝の気持ちが強くなったことを伝えられました。倉石先生からは、いろいろなスポーツをされてきた経験をもとに、「今の環境がすべてじゃない」「一歩踏み出す勇氣」「仲間」「今できることを見つける」をキーワードに、前向きに生きることを伝えていただきました。温かくも力強い夢先生の言葉は、子どもたちの心に響いたことと思います。子どもたち一人一人が、思い描いた夢を大切に育んでほしいです。



ブックトラック寄贈

2月13日(火)、本校でブックトラックの贈呈式がありました。昨年末、学校の近所にお住いの甲斐玉夫様から、「これまで、子どもたちにたくさんの勇氣や希望をもらってきたのでお礼がしたい」との話をいただき、子どもたちに還元できるものを考えておりました。そこで、図書の本や、県立等の図書館から借りた本を収納でき、教室へも移動できるブックトラックを希望しました。

甲斐さんは、コロナ禍の前までは、本校の児童に、玉ねぎ作りを指導されていました。また、交通指導員や消防団等、地域のためにご尽力されている方です。本来なら、こちらがお礼をしなくてはならないのに、感謝の言葉しかありません。

この日の全校朝会で、子どもたちに紹介しました。有効に活用し、読書好きの北っ子を育てていきたいです。甲斐さん、ありがとうございました。



商工会あいさつ運動

2月15日(木)みやき町商工会の方のあいさつ運動がありました。今年度は、2学期の始業式にもPTAと合同で実施していただきました。登校時は、雨が上がり、気温も上がっていましたので、子どもたちの表情も明るかったです。ふだん、私一人の時より、商工会の皆さんのおかげで、あいさつの声が大きく感じられました。商工会の皆さん、朝から元気をいただき、ありがとうございました。



感染症等に注意!

本校では、1月後半から感染症等により、学級閉鎖が続きました。欠席者は減ってきましたが、まだまだ、体調を崩している子もいます。今一度、ご家庭でも感染症予防について、ご協力をお願いいたします。